



発行所 東北大学学友会報道部 〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 川内サークル部室棟320

印刷所 東北プリント

本号4頁 無料

INDEX

- 2 前秋田県知事・佐竹さん取材
3 七大戰3競技結果
4 赤べこ伝説・会津柳津町

東北大学新聞ニュースサイト http://ton-press.blogspot.jp/ 当紙に対するご意見・ご感想は tonp.data@gmail.com



大規模障害を契機に問う

ISTU運用とその歩み

本学の学習支援システムであるISTUにおいて、大規模なシステム障害が発生した。...

ISTUからCanvasへ 学習管理システム移行

本学データ駆動科学・AI教育研究センターは、本年度より、学習管理システムを従来のISTU/DCシステムからCanvas LMSへと完全移行する。...

新旧学習システムの比較

Table comparing ISTU/DC and Canvas LMS across categories like login, base system, and external tool integration.

ISTUと現場

導入当初は、学習コンテンツ作成の煩わしさを...

ISTUシステムの変遷

Timeline of ISTU system changes from 2001 to 2021.

2010年度から全学教員が、これを表現する仕組みとしての学習管理システム(LMS)であるISTU/DCシステムで、...

課外活動で優秀な活躍 学友会会長賞を受賞

交響楽部 増井健人さん 硬式野球部 佐藤昂さん

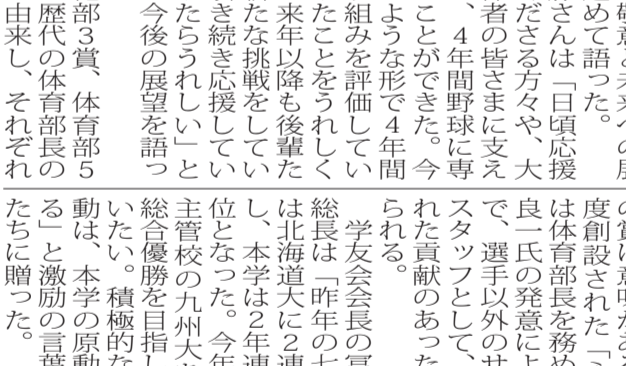
学友会の振興と発展に貢献した優秀な学生や団体の功績をたたえる。...

表彰式受賞者一覧

List of award recipients including student union president, sports clubs, and faculty members.

一言居士

「春眠不覚曉 処如開曉詩人 孟浩然「春暁」の一節だ。...



表彰状を授与する富永徳二総長

史への敬意と未来への展望を込めて語った。...

BooksDream advertisement for book buying and selling services, including '高価買取' and '大学合格おめでとう!!'.

第65回七大戰開幕 本学17回目の総合優勝へ

第65回全国七大学総合体育大会(七大戰)が開幕した。...

理学部 留学生受け入れ拡大 国際競争力の向上を企図

2月17日、本理学部など3大学11学部が、文部科学省により、...



史跡・仙道入取橋古戦場

仙台駅から電車で揺られること2時間、東北本線五百川駅に降り立つ。...

Shoensha Bookstore advertisement for academic and textbook purchases, including '読者の声を' and '昭文堂書店'.



# スキー部 七大戦 2位 「ベストを尽くせた」



(上) 競技中の様子  
(右) 集合写真に納まるスキー部員一同  
(写真はいずれも同部提供)

昨年12月27日から今年1月3日にかけて、野沢温泉スキー場(長野県)で第65回国立十大大学生選手権大会(十大大戦)が開催され、本学学友会スキー部は総合3位の成績を挙げた。この大会は、七大大戦(東北、北海道、北陸、関東、関西、中国、四国)と合わせて十大大戦となる。なお十大大戦の優勝は、東京大学であった。十大大戦は旧帝国大学7校に東京科学大(一橋大)を加えた計10校で争われる。10校の結果から3大学を除いたものが七大大戦の結果となる。スキー部は前回の十大大戦で2位、七大大戦として

は優勝を果たしており、今回の十大大戦では男女共に優勝での総合優勝を目指していた。結果は3位と、目標達成はならなかったものの、女子競技で優勝を果たし、男子もクロスカントリーリレーで3年ぶりにメダルを獲得するなど、随所で光る活躍を見せた。コンパウンド部門1位の品川吹季さん(当時)は「総合優勝という目標には届かなかったが、それぞれベストを尽くすことができた」と大会を振り返る。今後は「新体制の発足後に決まると前置きしながら、インカレでベストを尽くすこと、次回の十大大戦で優勝することを目指したい」と抱負を語った。また新入生には「冬季五輪ではスキー競技が盛り上がりつつあるが、オリンピックで行われた競技に実際にできるのは良い機会になる。スキー部は合

# 反省生かし次回優勝へ アイスホッケー部 6位



バックを打つアイスホッケー部員  
(写真は同部提供)

昨年12月8日から14日にかけて、オランダのアイスアリーナ・フロッグアイで七大大戦アイスホッケー競技があった。本学学友会アイスホッケー部は6位だった。最下位となった名古屋大には勝利を取ったが、大阪大・北海道大・東京大の上位3校の壁は厚く、実力が拮抗する中で、厳しい戦となった。「大会期間中、部内でインフルエンザが流行し、体調不良者が続出した。特に大きな要因として挙げられる」と事務の三井田卓斗さん(当時)は分析する。大会初日は、フルメンバーで試合に臨むことができ

たが、日を追うごとにレギュラーメンバーが欠ける事態となり、戦力の維持が困難となった。また、戦術面では相手のペナルティによる数的有利な状況でのセットアップの共有不足が露呈し、特定のメンバー間の連携が不十分であった。この大会でインフルエンザによる急なメンバー変更に対応できなかった点も反省点だ。一方で、1年かけて磨いてきた守備時のプレスは精度が上がっており、おおむね満足いく内容だったと振り返る。今後は、次回の七大大戦優勝とインカレ本選出場を目標に練習を取り組む。インカレ本選出場のためには、東北予選で東大に勝つ必要がある。三井田さんはアイスホッケーの魅力について

# 本学周辺で多彩な探鳥 東北大学野鳥の会



仙台区豊かな自然環境に囲まれた本学キャンパス。この恵まれたフィールドを舞台に、約50年にわたる活動を続けている野鳥の会は現在約130名の会員が所属しており、学部・学年を問わず幅広い学生で構成されている。毎週土曜日の午前中に実施する「土曜探鳥」は、本学周辺の環境について「青葉山や広瀬川、秋保ルネッサンス」など、多様な環境が広がっており、時期にもよりますが、多岐にわたる種類の鳥が観察できる。また、夏には色鮮やかな小鳥、冬には水辺に集まるガンやカモなど、年間を通じて多様な野鳥観察が楽しめる。野鳥観察の魅力について、柴さんは「入会によって、鳥の姿や色合いを詳しく見たり、行動や生態に興味を持ち、さまざまな鳥を観察するの楽しさや、観察の面白さを追いかける楽しさを感じることがあります。単に散歩しながら会員同士で交流する時間も楽しいです」と話す。会員の多くは、大学入学後に鳥を見始めたという。柴さんは「マニアックな集まりに見えるかもしれませんが、ほとんどが大学デビューの初心者です。観察を続けるうちに鳥の魅力にはまっていく人が多く、入会のハードルは低いと思います。「鳥がかわいい」「自然が好き」「鳥の足音を聴くのが好き」といった理由で、ぜひ気軽に足を運んでください」と語った。(高橋 暁)

(上) 観察した野鳥たち(大学周辺以外の鳥も含む)  
(右) 野鳥観察の様子  
(写真はいずれも同会提供)

# 航空部 4位 安全第一で空を飛ぶ



(左) 機体の準備をする航空部員  
(右) 離陸の様子  
(写真はいずれも同部提供)

2月25日から3月5日の慶応義塾大のグライディング競技会(グライ)の間に日程のうち5日間にかけて、関宿滑空場(千葉県)で七大大戦航空競技の競技会、普段より一層競技2日目では、気象条件が重視された。本学学友会航空部は4位だった。例年に比べて天候に恵まれた今回は、全7日く第4回までクリアし

て暫定2位につけた。しかし、3日目では、他校の選手が順調に旋回点をクリアする中、本学は得意点を伸ばすことができなかった。最終4日という結果に終わった。「結果は4位だったが、部員は数少ない競技会の場を体験し刺激を受けた。大会だった。この大会での経験を生かして来年の大会では、さらに良い結果を残せるように安全を重視して日頃からフライトの技術練習を繰り返して(当時)工3は大会を振り返った。練習は角田滑空場(宮

# 献血を「身近な習慣」に 東北大学献血サークルが奮闘



献血の準備をする航空部員  
(写真は同部提供)

必要時に、いつでも輸血を受けられると思っていないだろうか。輸血は当たり前ではなく、献血をする人によって支えられている。現在、若年層の血液不足が深刻な課題となっている。そうした中で多くの人や組織が、輸血を受けられる日常を守るため奮闘している。東北大学献血サークルはその一つだ。同サークルの代表(取材当時)工1に、活動への思いを聞いた。

# 「期末テスト」呼びは禁止 経済学部 従来の誓いの意



(上) 観察した野鳥たち(大学周辺以外の鳥も含む)  
(右) 野鳥観察の様子  
(写真はいずれも同会提供)

と担任と部活の顧問が献血を呼び、献血は国民の三大義務のうちのひとつだと思っていた。ところが、16歳の誕生日に父と、一緒に献血ルームに行き、初めて献血をしました。最後に、読者にメッセージを。献血に高いハードルを感じるのは、ぜひ友人を誘って遊びに行く感覚で訪ねてみてください。

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

が、担当の教員は口を塞ぎ、期末の時期に、学修の理解度を測る「理解度確認テスト」を「期末テスト」と呼んではいけない」と話す。ただ、全学教育科の目録や他学部開講科目では「期末テスト」と似ている

# 『東北大学新聞』60周年まであと7カ月!!

## ともに節目を迎えませんか? 新入部員募集中!

本学では戦前から学生新聞が作られていたものの、創刊・廃刊を何度も繰り返し、現在の『東北大学新聞』は1966年11月25日の通算419号を「復刊第1号」としています。昨年4月には紙齢500号を迎えた弊紙は、なんと今年11月に60周年を迎えます。我々と一緒に60周年を迎えませんか。新入部員は随時募集中です! 2年生の方も歓迎します!

東北大学学友会報道部  
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 東北大学川内サークル部室棟320号室  
Mail: tonp.data@gmail.com  
公式HP: https://ton-press.blogspot.com/

# 『東北大学新聞』に掲載するネタ募集中!!

現在、『東北大学新聞』は毎号の面数を4面以上にすることを目標としています。そのためネタはいくらあっても困りません! 部活・サークルのイベントを紹介してほしい、本学部員で新しい講座を開設したため掲載してほしい等ございましたら、ぜひ学友会報道部メールアドレス、または公式ホームページの問い合わせフォームよりお知らせください!

東北大学学友会報道部  
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 東北大学川内サークル部室棟320号室  
Mail: tonp.data@gmail.com  
公式HP: https://ton-press.blogspot.com/

